

# 消費増税へ「橋渡し」

## 来年度予算政府案を決定

### 社会保障2200億円圧縮継続

福田内閣は二十四日、二〇〇八年度予算政府案を閣議決定しました。社会保障費の伸びは、今後も毎年二千二百億円ずつ三割増えながら、消費増税増へ「橋渡し」的な位置付け(額貸増進財務相)をしながら予算案です。(2、3、5面に関連記事)

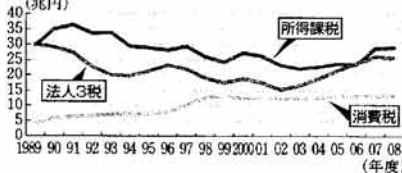
国と地方の借金(長期債)は二〇〇八年度末で七百七十六兆円程度まで膨らみ、膨張しました。アメリカの外圧を受け、相次いで大型公共事業中心の「経済対

策」を実施してきた結果で

の大型公共事業は軒並み増額。一方、地方港湾や住宅、下水道のための予算は削減されています。

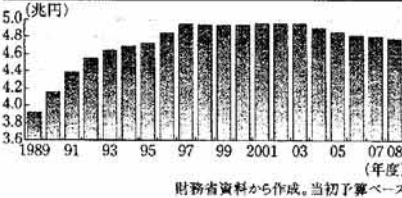
小泉内閣以来の「構造改革」のもとでも、国民・公明内閣は、生活密着型の公共事業を厳しく抑制する一方、大型公共事業は温存し続けてきました。来年度予算案で、公共事業関係費は対前年度比3・1割減です。八〇年代半ばには43・3

主要税目の税収の推移 (国と地方の合計)

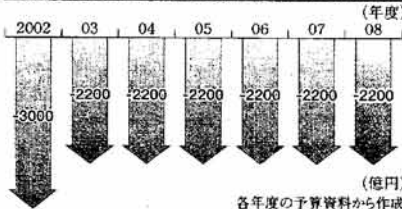


注) 税収の2005年度までは決算額。06、07年度は国は補正後予算、地方は当初見込み、08年度は当初予算額。所得課税は所得税と個人住民税、法人3税は法人税、法人事業税、法人住民税。

5兆円規模を維持する軍事費



小泉内閣以来の社会保障費の伸びの抑制額



#### 税収53兆5540億円

福田内閣が24日決めた2008年度予算政府案は、予算全体の規模を示す一般会計総額が、07年度当初予算比0.2%増の83兆613億円となりました。2年連続の増額です。一般歳出は総額で、同0.7%増の47兆2845億円となりました。

大企業は空前の利益を維持しているものの、原材料費の高騰や経済の先行き不透明感の高まりを受け、税収は53兆5540億円(対07年度当初予算比0.2%増)にとどまりました。

福田内閣は、「骨太の方針2006」に基づき、2200億円に及ぶ社会保障の自然増圧縮を08年度予算でも実施。こうした歳出削減の結果、国債の新規発行額は、25兆3480億円で4年連続で減額となりました。

れ、現在30%になりました。所得税の最高税率も、段階的に引き下げられてきました。

自民・公明両党は08年度税制「改正」でも、研究開発減税の拡充や減価償却制度「見直し」など、いくつかの大企業減税を盛り、証券優遇税制の一部温存、拡充など資産家減税も維持しよとしています。

「聖域」にメスを 共産党が主張  
福田内閣・公明政権は「社会保障財源」や「財政

再建」を口実に、消費増税へ「橋渡し」しようとしています。日本共産党は、浪費をなくし、ゆきすぎた大企業・大資産家減税と軍事費の「二つの聖域」にメスを入れれば、消費増税なしで、社会環境の財源を生み出し、財政再建の道も開けると主張しています。

## 国の責任・謝罪明記を 薬害肝炎原告ら「意見」

### 薬害肝炎原告ら「意見」

薬害肝炎問題で福田康夫首相が議員立法による一律救済を表明して一夜明けた二十四日、薬害肝炎全国原告団・同弁護士会は東京都内

で緊急会議を開き、国の責任と謝罪を議員立法に盛り込むことを求める「意見」をまとめた。

(15面に関連記事)

記者会見した原告団代表の山口美智子さんは、被害を発生させた責任の明確化が立法趣旨に盛り込まなければ薬害根絶に結び付かないと述べました。

恒久対策について、被害者が安心して暮らせるよう、医療体制の整備、治療援助、健康管理手当の支給などの施策を実施し、福祉の増進を図ることを要求。薬害再発防止については、薬害を発生させた真相究明のための検証事業を行う第三者機関の設置などを提言しています。